平和、民主主義、暮らしをまもる
のばやし、福岡市政を

県政につづき県都福岡市に初の革新市政が実現するかどうか全国注視のなかで、八月二十五日たたかいの火ぶたが切られ、「新しい福岡をつくる会」推せんののばやし豊治氏（五十一歳）が立候補、「市民のくらしに役立つ人間らしい政治を」と勝利をめざして奮闘中です。

いよいよ本番に突入した福岡市長選挙は、のばやし氏のほかに現市長で自民、公明両党が推す進藤一馬氏（八十歳）と、民社党、社民連などが推す楢崎弥之助氏（六十四歳）が出馬し、九月九日の投票日に向けて三つどもえの激しい選挙戦を展開しています。

社会・共産両党、地区労、学者・文化人などで構成する「新しい福岡をつくる会」を中心に全力を挙げてたたかっていますが、のばやし候補は「奥田知事に続いて勝利を」と訴えています。福岡市内のあらゆる知人・友人にただちに電話で協力を訴えてください。

三池炭鉱の歴史の中から

炭鉱災害と町方寺院

その三 第十回

十六分会 武松輝男

今年もまた炭鉱災害で亡くなった多くの人たちへの、送り火と迎え火が、家族の新たな悲しみの中で燃やされた。

それにしても、炭鉱は災害が多すぎる。三池有明鉱で多くの犠牲者を出した災害が起きたばかりなのに、こんどは海をへだてた台湾の炭鉱で、多数の死亡者を出す災害が起きている。よその国のことを見ないで、日本の国の炭鉱だけを見たとしても、死者を出すまでにいたらない怪我だけの災害といったら、それこそ数えることのできないくらいの件数になる。三池炭鉱に例をとってみても、昭和五十八年度の四山鉱の災害発生件数は、在籍人員をオーバーし一〇三パーセントにも達している。

それにしても、とまた言いたくなるが、なぜ、こうも炭鉱は災害が多いのだろう。山の神という人間の知恵の及ばないところからの差配によるものか。それとも坑内で歌などの音律を奏でると山の神の猿田彦神が、眠りからさめて動き出すから災害がおきるという炭鉱のジンクスによるものか。そういえば、いま坑内では時どきバックミュージックを流している。かつての坑夫たちであったなら、炭鉱の存亡にかかるぐらいの大騒動になっていたろう。いまの炭鉱労働者ですら、あの音楽を聞くと体が動き出す、という。災害が多いのはそのためではあるまいが。

炭鉱の災害の多い本当の原因は、一切の反抗や抵抗だけでなく、ささやかな哀願ですら認めない、そういう教義で貫かれた『智恩社』の宣撫をたくみに組み込んだ労務政策のせいだと言っていい。

「それだからなお腹が立ちます」とある僧侶は語ってくれた。

「炭鉱で災害があって死亡した者が、社葬とかいう形で葬むるのならばまだ許される。バッテン、そうじゃなか者まで、檀那寺ですから葬儀ばしようとすると、智恩社がシャシャリ出てきて、うちで葬式ば出すというですもん。それでですな、この人はうちの檀家ですバイ。だから檀那寺が葬式ば出してやることがほんなことでしょうもん、テ言うても、智恩社は、こん人は三池炭鉱ン従業員、従業員は檀家と同じじゃけん、こん人の葬式は智恩社で出すテ言うて、葬儀ば取り上げてしまいよったです。わたしンとこは寺ですバイ、そん寺が門徒の葬儀もされん、そげな情なかことテありますか。それですケン、智恩社という言葉を聞いただけで、腹ン中ン煮えくりかえるごたる気持になるとです」

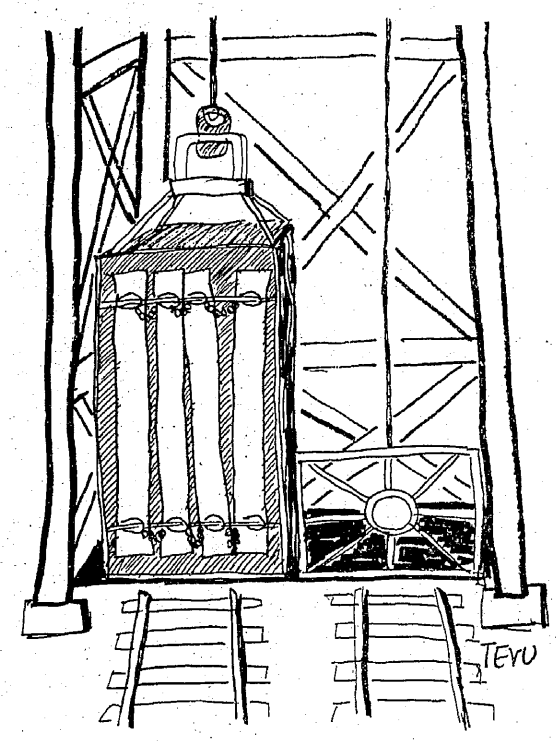
ある一定数の檀家をかかえ、葬儀や命日などで回向を営み、そのときのお布施で生活をしているのが寺であるといってよい。その葬儀を智恩社が取り上げるとなれば、その寺の糧秣が断たれることと同じである。

「しゃにむに葬儀バ出すと言えば、智恩社も引っこんだじゃろうですか。そりゃあまかあ。三池炭鉱ン労務の世話方たちがきてですよ、受付から出棺まで一切取り仕切ってしまうもので、町方ン者はオロオロしとるばっかりでしたデス。考えてみなはれ、導師入場テ言うて智恩社ン僧侶の名前バ世話方が呼べば、部屋の入口から中へは入られんでっしょうがァ」

三池炭鉱の町方への支配は、智恩社という関接的な方法を使いながら、人間の生死の奥部までしみ透っている。

これほどの、生きることも死ぬこともままにならない支配は、他に類をみないだろう。

（カットも筆者）



許すなトマホーク ⑤

生態系変える核兵器

1メガトンで300万人即死

一九八X年〇月〇日のことであった。

朝鮮半島で軍事衝突が生じた。それに端を発して「シーレーン」海域でアメリカの第七艦隊とソ連の太平洋艦隊の打撃戦の火ぶたが切られた。戦火は一挙に拡大し、「トマホーク」も発射された。やがてソ連の「SS―二〇」も発射された。

これは核戦争の一つのシナリオである。

「トマホーク」や「SS―二〇」は、命中精度が高いので、「限定目標」を攻撃できる。つまり通常兵器と同じように、簡単に使えると考えられている。だから、ちょっと戦火が拡大すれば、ためらうことなく使われる公算が大きい。

とくに、日本はアメリカの核戦力を守り、支えているのだから、まちがいなくソ連のSS―二〇の攻撃を受ける。不沈空母は、ソ連にとって標的なのである。

だが、核戦争になったら、日本はどうなるだろうか。たとえば昼間、東京が一メガトン規模の核攻撃を受けたらどうなるだろうか。

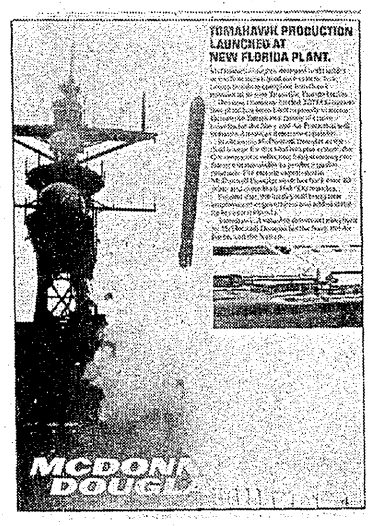
まず、山の手線の内側は、完全に破壊され、住民は全滅する。区内全体でみると約三〇％（三百万人）が即死。爆発のさいに放出された致死量の死の灰は、風下、幅二十キロ、長さ百四十キロメートルの地帯をおおう。放射線をあびたが生き残った人びとには、放射線障害による「おくれた死」がおそう。

交通網が破壊される。生き残った都民は、すぐに食量の欠乏にさいなまれる。水は放射能で汚染されているから、飲料水も欠乏するだろう。爆発のさいの電磁パルスによって、電話・ラジオ・テレビなども使用不能になる。都民は何の情報も得られないだろう。

生態系もまた地球的規模で破壊される。オゾン層が破壊されるので生物に有害な紫外線が増える。爆発のさいにまきあげられたチリによって太陽の光がさえぎられ、いわゆる「核の冬」が訪れる。地球が寒冷化するため植物（とくに穀物）が枯死する。食糧危機が生じる。

核戦争による死者は、爆死者にとどまらず世界的に波及していく。

「トマホーク」配備のはてには、このような悲惨な世界が見通せるのだ。



「国民のために」トマホークを建造するというマクドナル・ダグラス社の広告

強制労働の犠牲者しのび

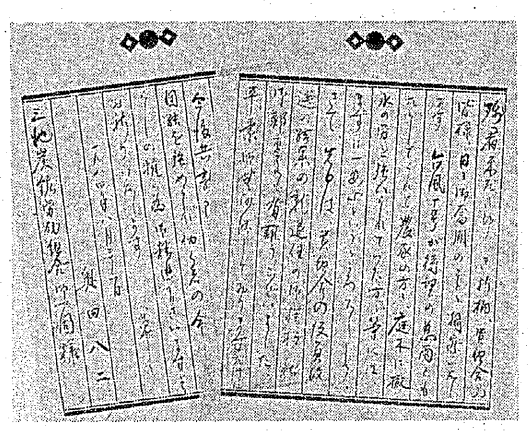
今年も死没囚人労働者の法要

大牟田囚人墓地保存会（浦川守代表）は八月十日午前十時から大牟田市久保田町の蓮心寺で第十六回目の死没囚人労働者の法要を営なみました。

およそ五十人が集まり苛酷な強制労働の犠牲となった三池炭鉱での囚人労働をしのびながら、霊を慰めました。

奥田知事から―

激励のお便り届く



残暑まだきびしい折柄、貴組合の皆様、日日御奮闘のことと拝察いたします。

台風十号が待望の慈雨をもたらしてくれて、農家の方がたや、庭木に散水の労を強いられていた方がたには、まずは一安心というところでしょう。

さて、先日は貴組合の役員改選の結果の就退任の御挨拶状を御鄭重にありがとうございました。

平素御無沙汰しておりますだけに、皆様の撓まぬ御苦労が察せられ遠い過去を思い出して胸せまる思いがして筆をとった次第です。

今後共、新陣容のもと、一層団結を強められ働く者の命と暮らしの擁護のため、御精進下さいますようお祈りいたします。

草々

一九八四年八月二十二日

奥田八二

三池炭鉱労働組合御一同様